



読書活動への扉を開く！

No.88

桑村小学校令和6年2月2日 文責 渡邊

「幸せ」とは何かを考えさせられる絵本と出会いました!!

「幸せ」とは何なのでしょう？私は今の生活にとっても満足しています。それを「幸せ」というのではないのかなと思っています。皆さんにとって「幸せ」とはどういうものなのでしょう？

本校の学校図書館にある絵本を手に取り帯を読みました。それには次のような文章が書かれていました。

貧乏とは少ししか持っていないことではなく、
無限に欲があり、
いくらあっても満足しないことです。
人類の幸福とは何か、深く問いかける絵本

とても深い文章だと思いませんか。また、次のようなメッセージも書かれていました。

- 子どもは遊んで、遊んで、遊んで、幸せにならないといけない。知識、知識、知識、情報、情報、情報、と急いで与えてはいけない。子どもはゆっくりと育つべきなんだ。
- お金を持っていても時間は容赦なく流れていくんだ。物のために生きてはならないんだよ。

さて、この絵本は『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』（くさばよしみ編中川学 絵 株式会社汐文社発行 2014年3月発行）です。

私たちはとても便利な時代に生きています。それは社会が発展してきたからです。しかし、それに伴い環境問題やエネルギー問題等様々な問題が発生してきています。これからの私たちの生活は、子供たちの時代の生活は、孫たちの時代の生活は…。今の時代を生きている私自身が幸せであったらそれでよいのでしょうか？

絵本の中で、ウルグアイのムヒカ大統領は次のように述べています。

社会が発展することが、幸福をそこなうものであってはなりません。発展とは、人間の幸せの味方でなくてはならないのです。
人と人とが幸せな関係を結ぶこと、
子どもを育てること、
友人を持つこと、
地球上に愛があること—
こうしたものは、人間が生きるためにぎりぎり必要な土台です。発展は、これらをつくることの味方でなくてはならない。
なぜなら、幸せこそがもっとも大切な宝だからです。

「幸せ」という言葉の響きはとても素敵です。

今、学校教育においても、新たな教育振興基本計画が打ち出され、今後の教育の方向性が示されました。それは、「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」の2つです。

ウェルビーイングは、身体的・精神的・社会的に良い状態であることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含みます。

今現在の「幸せ」をいかに将来的なものへと持続していくのか、ここを子供とともに追究していきたいと考えます。



【絵本の表紙】